

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	障害者週間記念講演会開催事業	所管	保健福祉部 障害福祉課
			TEL 2998-9116

事業の目的 (何の為に 行うか)	講演会を通じ、市民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深める。
------------------------	-------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	1,400	人

活動の内容	(何を したか)	<b>【障害者の理解と関心を深めるために、障害者週間に合わせ「記念講演会」開催という方法で実施している事業】</b> 1 年度毎に実施内容・実施方法を企画する。 2 講師を選定し依頼する。 3 広報やチラシ・ポスターによるPRを実施するとともに、障害者団体や施設等に開催内容を送付する。 4 記念講演会を開催する。 5 講師に謝礼を支払う。								
	活動実績	項目名	来場者数	1400	項目名		項目名		項目名	
			-----		-----		-----		-----	
			単位		単位		単位		単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	100	100	2,730	8.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業内容に対する参加者の満足度	回答中「全体として『よかった』」と回答した数÷アンケート有効回答数	90	71	78.9
			-----	-----	-----
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課 グループ	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	障害者週間記念講演会開催事業		保健福祉部 障害福祉課			
040301						
開始年度		平成 5 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市障害者計画				
	関連・類似事業	社会福祉講座事業(福祉総務課)、社会福祉大会開催事業(社会福祉協議会、福祉総務課)				障害者基本法
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱 1 参加と協働の促進 小柱 (1)障害者への理解促進
		H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位			実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード 1111 市民の知りたい情報の提供				
	事業開始の背景	障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者があらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために、障害者週間(12月3日～9日)が定められた。これに伴い、趣旨にふさわしい事業として開始した。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	講演会を通じ、市民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深める。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方	講演会参加者			
	市民	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人
				平成 19 年度	339,058	人
		利用数	単位	平成 18 年度	135	人
				平成 19 年度	1,400	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	【障害者の理解と関心を深めるために、障害者週間に合わせ「記念講演会」開催という方法で実施している事業】 1 年度毎に実施内容・実施方法を企画する。 2 講師を選定し依頼する。 3 広報やチラシ・ポスターによるPRを実施するとともに、障害者団体や施設等に開催内容を送付する。 4 記念講演会を開催する。 5 講師に謝礼を支払う。				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	《 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/> 》				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点	平成19年度は埼玉県と共催で実施した。(国立リハビリテーションセンターも協力として参加した。)平成20年度については、国立リハビリテーションセンターと共同で開催を予定しており、実施内容及び詳細については協議する。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		150	100	100	
	決算(見込み含む)		150	100		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )				
	正規職員人件費		0.16 人	1,472	0.28 人	2,630
	公債費					
	事業費合計		1,622	2,730		
	財源内訳	一般財源	1,622	2,730	100	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		4.8	8.1		
	利用数一単位あたり(単位:円)		12,014.8	1,950.2		

⑥指標	項目名	来場者数	計算方法	何らかの効果があつたと回答した数 / アンケート数	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績						135	1400	1000	1500
	成果分析	事業内容に対する参加者の満足度	回答中「全体として『よかった』と回答した数÷アンケート有効回答数	%	目標値	90	90			
				%	実績	83	71			
			%	達成率	92.2	78.9				実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかなった課題	障害者の理解と関心を深めることを目的とした事業であるため、収容量の大きな会場で実施することが望ましい。平成20年度からは、国立リハビリテーションセンターと共催に向け準備を進めている。				
⑧二次評価	評価項目	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	事業に対するアンケートの充実	今後の施策に市民の声を生かしていくことが出来るよう、分かりやすく適切なアンケートを作成する		平成20年12月	
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	平成20年度については、市役所会議室等又は国立リハビリテーションセンターでの開催を予定しており、平成20年度の成果を見ながら、今後の開催方法を検討していく。				
	評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	障害福祉課長 森 田 昇		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了					
	第二次評価用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
	評価理由	評価理由						
	評価日	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					計画コード
	施策の体系						施策の方向
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					計画コード
	基本目標						
	主要課題						
	施策の方向						